

◎科学技術における研究開発のための協力に関する日本政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文

(略称) 米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

昭和六十三年 一月二十九日 ワシントンで  
昭和六十三年 一月二十九日 効力発生  
昭和六十三年 三月 三日 告示

(外務省告示第九三号)

目 次

日本側書簡	二八九三
米国側書簡	二八九五

(科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文)

(日本側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本官は、千九百八十年五月一日にワシントンで署名され、千九百八十五年四月二十六日、千九百八十七年四月二十八日及び千九百八十七年十月二十七日に交換された書簡によつて延長された科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の延長に関する両政府の代表者の間における最近の討議に言及するとともに、前記の協定は、同協定第九条に基づき千九百八十八年三月三十一日まで延長されるものとすることを、日本国政府に代わつて提案する光栄を有します。

本官は、更に、前記の提案がアメリカ合衆国にとつて受諾し得るものであるときは、この書簡及び閣下の返簡が、両政府間の合意を構成するものとすることを提案する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百八十八年一月二十九日にワシントンで

米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

Excellency,

Washington, January 29, 1988

(Japanese Note)

I have the honor to refer to the recent discussions between the representatives of the Governments of Japan and the United States of America concerning the extension of the Agreement between the Governments of Japan and the United States of America on Cooperation in Research and Development in Science and Technology, signed at Washington on 1 May, 1980 and extended by the notes exchanged on 26 April, 1985, 28 April, 1987, and 27 October, 1987, and to propose on behalf of the Government of Japan that, pursuant to Article IX thereof, the said Agreement will be extended until 31 March, 1988.

If the above proposal is acceptable to the United States of America, I have further the honor to suggest that this note and your Excellency's note in reply shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

米 国 と の 科 学 技 術 研 究 開 発 協 力 協 定 の 有 効 期 間 延 長 取 極

日 本 国 臨 時 代 理 大 使    渡 辺 泰 造

合 衆 国 国 務 長 官    ジ ョージ・P・シュルツ 閣 下

二 八 九 四

(Signed) Taizo Watanabe  
Chargé d'Affaires  
ad interim of Japan

His Excellency  
George P. Shultz  
The Secretary of State

(米国側書簡)

訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本長官は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本長官は、更に、前記の提案がアメリカ合衆国にとつて受諾し得るものであることを、アメリカ合衆国政府に代わつて確認するとともに、貴官の書簡及びこの返簡が、両政府間の合意を構成するものとすることに同意する光栄を有します。

本長官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて貴官に向かつて敬意を表します。

千九百八十八年一月二十九日にワシントンで

合衆国國務長官に代わる

リチャード・J・スミス

日本国臨時代理大使 渡辺泰造殿

米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

(U.S. Note)

Washington, January 29, 1988

Sir,

I have the honor to acknowledge the receipt of your note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honor to confirm on behalf of the Government of the United States of America that the above proposal is acceptable to the United States of America and to agree that your note and this note in reply shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to renew to you the assurance of my high consideration.

For the Secretary of State

(Signed) Richard J. Smith

The Honorable Taizo Watanabe  
Chargé d'Affaires  
ad interim of Japan

(参考)

この取極は、昭和五十年五月一日に署名され、昭和六十年四月二十六日、昭和六十二年四月二十八日及び昭和六十二年十月二十七日に交換された書簡（昭和六十年及び昭和六十二年二国間条約集参照）によって延長された米国との科学技術研究開発協力協定（昭和五十年二国間条約集参照）の有効期間を更に昭和六十三年三月三十一日まで延長するものである。